

# 2014 環境報告書

Environmental Report

ダイジェスト版

2013/7－2014/6



川根本町：長島ダム周辺の景色

# Index



本川根工場



中川根工場

ケーブルテクニカ株式会社は、ステークホルダーに対する企業活動の  
情報開示と従業員に対する環境保全活動の啓発を目的に  
環境報告書を発行しています。

## 本報告書の対象範囲

### 期間

2013年6月21日～2014年6月20日

トピックスについては2014年の近況を掲載

### 対象範囲

ケーブルテクニカ株式会社 本川根工場 中川根工場

### 次回発行予定

2016年10月予定

### 報告書作成部署／問い合わせ先

ケーブルテクニカ株式会社 ISO事務局

TEL：0547-59-3141（代）

FAX：0547-59-3553

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| Index                 | 01    |
| ごあいさつ                 | 02    |
| 環境方針                  | 03    |
| 2013年度の環境取り組みの実績      | 04    |
| CO <sub>2</sub> を減らそう | 05    |
| 廃棄物を減らそう              | 06    |
| 環境負荷物質を減らそう・法規制を守ろう   | 07    |
| その他、工場排水管理・天ぷら油の回収    | 08    |
| 社会と共に活動しよう            | 09～10 |

# ごあいさつ

## CABLE TECHNICAの社章



メータケーブルの中核に技術をイメージするという意味を込めている

いつもケーブルテクニカをご支援いただき誠にありがとうございます。平素より弊社の事業に対してご理解をいただき感謝申し上げます。

私たちは、矢崎グループ社は

『世界とともにある企業』

『社会から必要とされる企業』

から、展開された経営基本方針・矢崎地球環境憲章を基にケーブルテクニカ環境方針を定め活動しています。

事業を通じて地域の皆様、協力会社様、お取引先様及び自らの環境負荷の低減活動を継続的に取り組んできました。

2013年度は、方針を「協働」と定め、活動の目的・目標を共有し、部署間の協力の元スピード感をもって課題解決に向けた取り組みを行いました。

2014年度は、方針を「共感」と定め、今まで努力してきたこと、これから努力することで会社が発展し、家族、地域を含めた従業員全員が「よかった」と共感できる企業を目指していきます。

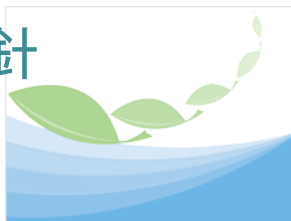
環境活動としては、省エネ・省資源を主体とした環境目標の設定と運用を行い、有益な側面を反映した目的・目標の実践を行っていきます。また、地域の皆様との良好な関係をさらに築けるよう、社会貢献活動への積極的な参加をできる限り行っていきます。

本報告書は、様々な環境の取り組みを幅広くご理解いただくために作成しました。ぜひ、ご一読いただき忌憚のないご意見、ご感想をお願い申し上げます。



代表取締役  
石田 吉央

# 環境方針



## 矢崎グループ社は

「世界とともにある企業」「社会から必要とされる企業」

## 経営基本方針

環境/安全を最優先とした企業活動を行い、豊かな未来社会実現に貢献する。

## 矢崎地球環境憲章 1997年制定 2012年に一部改訂

### 環境方針

私たちは経営基本方針に基づき、地域環境保全が 人類共通の重要課題の一つであることを認識し、すべての企業活動および社員の一人ひとりの行動を通じて住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組みます。

### 行動指針

#### 1.環境マネジメントの充実

全従業員への環境意識の浸透により、自らの意思で環境取り組みを実践できること

#### 2.地球環境への対応

温室効果ガス排出量の生産時の削減と省エネ商品による貢献

#### 3.循環型社会形成のための資源有効活用の推進

廃棄物の再生利用の推進と排出物削減による省資源化

#### 4.環境負荷への対応

製品及び生産工程における環境負荷物質の確実な管理

#### 5.環境配慮型製品の開発

温暖化、資源循環、環境負荷物質を考慮した製品開発の実施

## ケーブルテクニカ環境方針

### 行動理念

大井川流域の豊かな自然環境の中で事業を営む責任として、環境負荷の少ない生産活動の実践と、当社の基本理念である“社会性”のある企業を目指し、環境と調和した豊かな地域社会の実現に貢献する。

### 行動指針

当社の行なう事業活動が、環境に与える影響を捉え、工程改善、不良低減、業務効率化等を図り、技術的、経済的に可能な範囲で次の事項を実施する。

①CO<sub>2</sub>排出量を削減する。

②廃棄物の削減を図ると共に、資源の再利用を促進する。

- ・環境関連の法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。
- ・環境管理の充実を図り、個々の環境意識の向上を図る。
- ・適切な汚染の予防を含めた環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善を推進する。

# 2013年度の環境取り組み実績



[達成基準評価]

100%以上: 

95%以上: 

95%未満: 

**CO<sub>2</sub>を  
減らそう**

**廃棄物を  
減らそう**

**環境負荷物質VOCを  
減らそう**

**法規制を  
守ろう**

**社会と共に  
活動しよう**

| 環境目的                                      | 2013年度目標                             | 2013年度実績                                                             | 評価                                                                                    | 2014年度目標                                                                                   |
|-------------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| CO <sub>2</sub> を減らそう                     | CO <sub>2</sub> 原単位<br>0.263トン/百万円以下 | CO <sub>2</sub> 原単位 0.313トン/百万円<br>達成度: 81%                          |    | CO <sub>2</sub> 原単位の削減<br>2013年実績から1%以上削減<br>0.263トン/百万円以下                                 |
| 廃棄物を<br>減らそう                              | 廃棄物量<br>11.2トン以下                     | 廃棄物量 11.9トン<br>達成度: 94%                                              |  | 廃棄物量の削減<br>2013年実績の維持<br>11.9トン以下                                                          |
|                                           | 廃棄物量原単位<br>0.176トン/億円以下              | 廃棄物量原単位 0.21トン/億円<br>達成度: 81%                                        |                                                                                       |                                                                                            |
| 環境負荷物質<br>VOCを<br>減らそう<br>(洗浄剤・<br>希釈溶剤等) | 環境負荷物質原単位<br>2,708kg/千万円以下           | 環境負荷物質原単位 3,335kg/千万円<br>達成度: 77%                                    |  | 環境負荷物質量の削減<br>2013年実績の維持<br>排出量1,058kg以下<br>(算出基準の見直しにより、<br>2013年度の目標値に対し、低い<br>値となっています) |
| 法規制を守ろう                                   | 本川根工場 敷地境界線<br>上の騒音50dB(A)<br>以下     | 敷地境界線上の騒音 51.5dB(A)<br>達成度: 97%                                      |  | 環境法令の順守<br>環境法令の自主点検と他事業<br>所との相互評価<br>敷地境界線上の騒音改善<br>方策の検討、改善の推進                          |
| 社会と共に<br>活動しよう                            | 工場見学の随時受入<br>及び地域行事へ参加               | 計画した活動の100%実施<br>達成度: 100%<br>工場見学受入れ・研修生の中学校運動会参加・商工会<br>行事への参加等・・・ |  | 工場見学の受け入れ・地域イ<br>ベントへの参加協力・30周<br>年感謝祭の開催・地域の美化<br>を目的とした活動の立案と<br>実施                      |

※原単位: 発生量/生産金額…操業度合いを加味した見方に使う。

CO<sub>2</sub>を  
減らそう



生産現場での取り組み  
を中心に展開



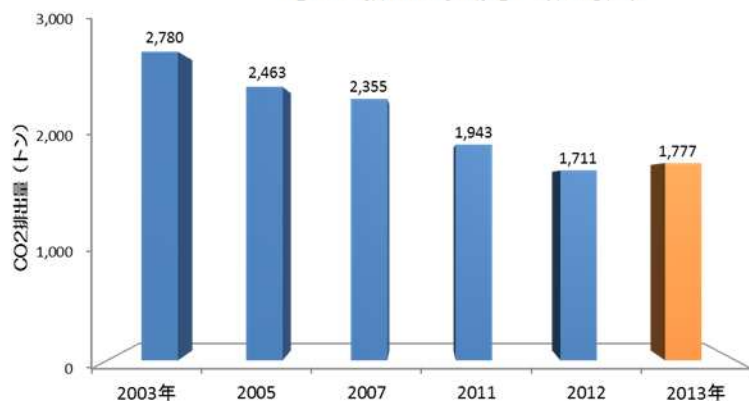
## ・製造工程及び生産設備の継続的な見直し

省エネ機器の導入や、ムダの発見による省エネ活動によるエネルギーの削減を主に実施しました。

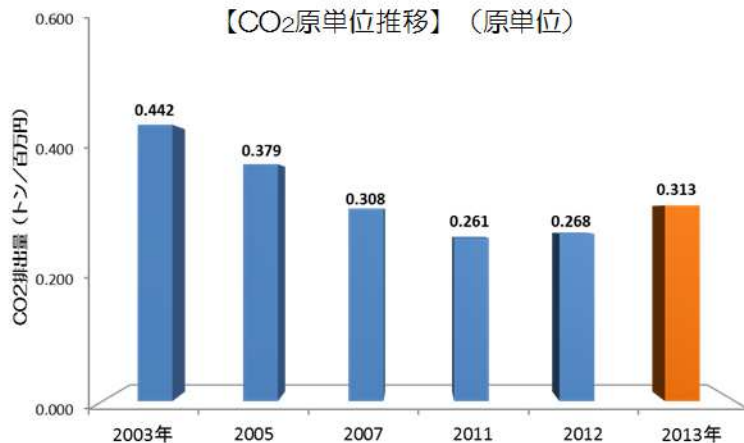
### 生産活動におけるCO<sub>2</sub>削減の取り組み

工場では電力とエネルギーを使用して製品を製造しています。製造工程の見直しによる生産効率の向上、設備の見直しによるエネルギーの適正化などで電力消費量等の削減を行っています。また事業活動で使用するエネルギー量を原単位でとらえています。

【CO<sub>2</sub>排出量推移】（絶対値）



【CO<sub>2</sub>原単位推移】（原単位）



※原単位＝CO<sub>2</sub>発生量/生産金額…操業度合いを加味した見方に使います

- 生産変動の見直しにより空調時間を短縮：生産打ち切り工程エリア：14時間⇒9時間 **2.26t/年削減**
- 生産変動の見直しにより成形機：乾燥機の稼働時間を短縮・20.5日稼働⇒4.1日稼働 **5.20t/年削減**
- 本川根工場社宅の外灯をLEDに変更：**1.52t/年削減**
- 電動式フォークリフト更新（省エネ仕様）**0.14t/年削減**



中川根工場（食堂）：緑のカーテン

平成26年度「緑のカーテンコンクール

**最優秀賞受賞！**

川根本町商工会  
「緑のカーテンコンクール」にて、  
表彰されました。

廃棄物を  
減らそう

循環型社会  
構築への貢献！

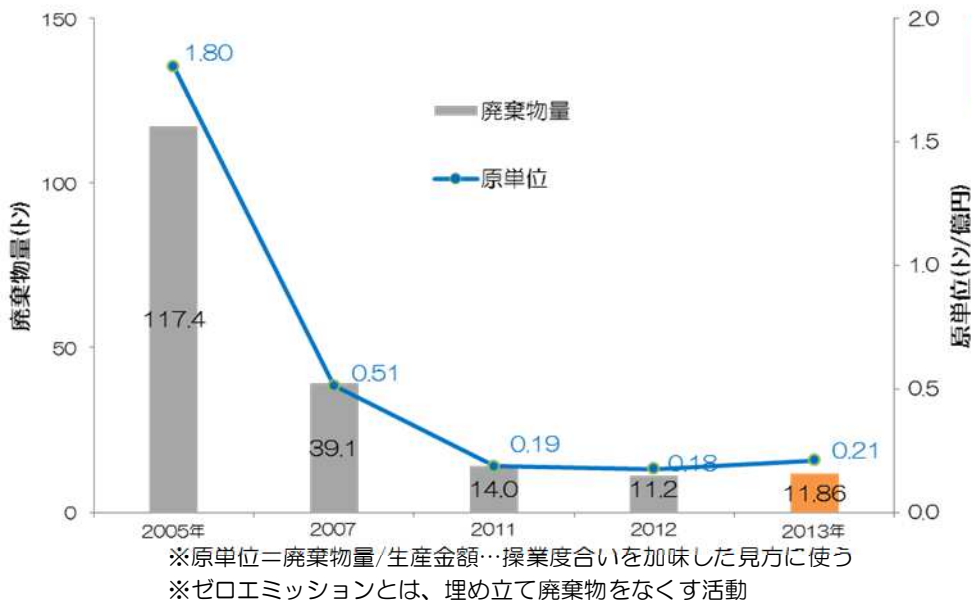


もったいない



工場や事務所から排出される廃棄物の削減や、日々の事業活動の中で、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の省資源活動を継続しています。

【廃棄物量（絶対値）】・【廃棄物量原単位（原単位）】推移

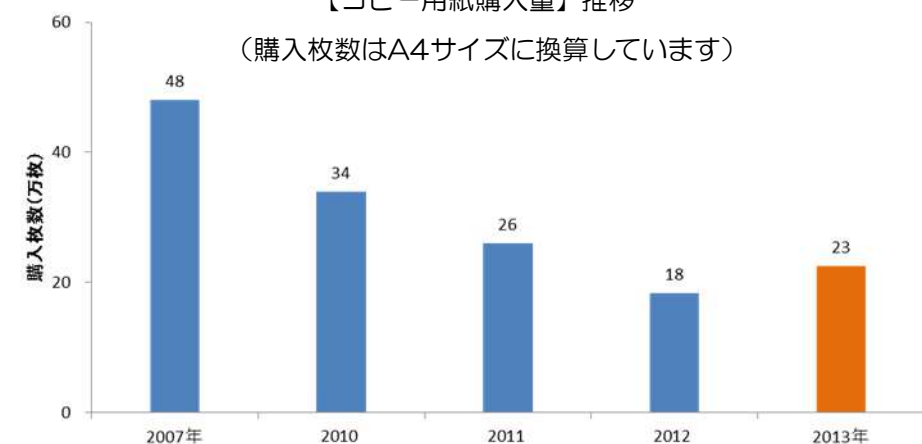


### 廃棄物削減活動の取り組み

新規製品導入時の廃棄物、日常で発生する廃棄物の見直し及び徹底した分別活動を継続的に行っています。2006年11月以降  
※「ゼロエミッション」を維持、継続中です。

- 廃棄予定通箱の利用  
廃棄予定の通箱210kgを他の製品に流用
- 不要な調整サンプル生産を廃止  
調整品24本→1本
- 廃棄していた製品の有価物転用  
有価物にできる廃棄物がないか見直しして、有価物に転用することができた（サンプル調整品、有価物転用の事例については重量等の実績はありません）

【コピー用紙購入量】推移  
(購入枚数はA4サイズに換算しています)



帳票の集約、見直し、※ICT、裏紙の活用等の継続的な活動により年々コピー用紙購入量は減っています。

- 紙の配布を見直し、データ化・メール通知への変更や、帳票のサイズの見直し・両面コピー等によります

※ICT  
(Information and Communication Technology)  
情報・通信に関連する技術一般の総称

【リサイクル比率】推移



- 分別活動の成果として、2007年以降リサイクル率、80%以上を維持しています。

## 環境負荷物質VOCを減らそう

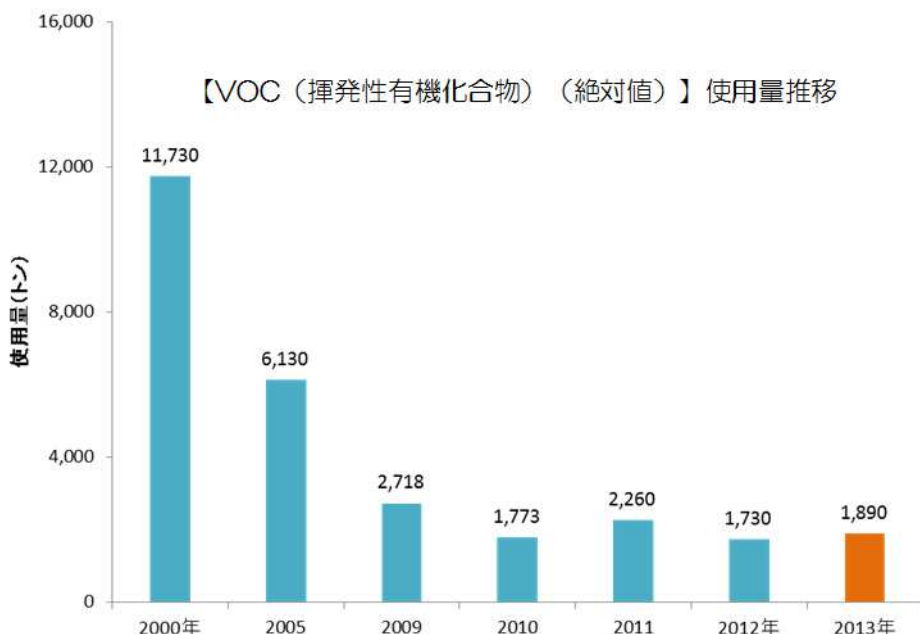
### 環境負荷物質の削減



#### 大気汚染削減への取り組み

当工場では、有機溶剤や・塗料等の化学物質を使用しています。化学物質使用量の低減・化学物質含有廃棄物の排出量等を低減し、環境影響に配慮した取り組みを進めています。

【VOC（揮発性有機化合物）（絶対値）】使用量推移



#### VOC削減活動の取り組み

環境汚染の防止を目的として、環境負荷の少ない洗浄剤への切り替えや、現場改善による大気放出量の削減を行っています。

- 使用禁止物質ジクロロメタンを撤廃  
臭素系洗浄剤に切替えました
- 洗浄剤切替  
トルエンの一部をエコ洗浄剤に変更しました
- 現場改善  
部品の洗浄工程に上蓋を追加して、大気放出量を削減しました

## 法規制を守ろう

### 環境に関する法的要求事項の確認

環境法令の順守状況に問題がないか定期的に矢崎グループ間の相互評価を実施しています。法令の順守はもちろんのこと、運用管理面についてもレベルアップを図り継続的改善を行うものです。

#### 法規制順守評価の取り組み

##### 【矢崎グループからの点検結果】

| 要検討事項 | 不適合事項 |
|-------|-------|
| 6件    | 2件    |

副資材類がガラス瓶に保管されているため、棚から転倒した際、床上に飛散し環境汚染につながる恐れがある事、又は従業員への健康被害の影響が懸念される等・・・の指摘

転倒防止柵・専用の保管容器を棚に設置した等の対策をおこないました

##### 【その他、敷地境界線上の騒音改善】 (本川根工場)

#### 騒音の改善

近隣の本川根中学校等から現状問題ないとの回答を得ていますが、継続的な改善を進めています。

#### 騒音改善の取り組み

- エアーノズルを消音型に変更
- 発生源に消音ボックスを設置
- 発生源をパーテーションで囲い込む
- 設備の作動速度を下げて、発生音を低減

## その他、 工場排水管理



### 工場排水の監視及び測定

水質汚濁防止法が適用される特定施設はありませんが、大井川に隣接している事業所として、工場からの排水を自主的に監視及び測定しています。

工場排水の水質は、検査項目の基準値を全て満足しています。

| 検査項目       | 水質汚濁防止法       | 県条例: 大井川<br>上乘せ基準 | 2013年実績  |    |          |    |
|------------|---------------|-------------------|----------|----|----------|----|
|            |               |                   | 本川根工場    | 判定 | 中川根工場    | 判定 |
| pH         | 5.8～8.6(mg/ℓ) | 5.8～8.6(mg/ℓ)     | 6.8～7.1  | OK | 7.2      | OK |
| SS         | 最大200(mg/ℓ)   | 最大60(mg/ℓ)日間平均40  | 1.0～10.0 | OK | 1.0～1.0  | OK |
| COD        | 最大160(mg/ℓ)   | 河川適用なし            | 0.5～7.2  | OK | 0.6～15.0 | OK |
| BOD        | 最大160(mg/ℓ)   | 最大25(mg/ℓ)日間平均20  | 0.5～6.8  | OK | 0.5～10.0 | OK |
| n-ノルマルヘキサン | 5以内(mg/ℓ)     | 5以内(mg/ℓ)         | 0.1～0.5  | OK | 0.5以内    | OK |
| 溶解鉄        | 10以内(mg/ℓ)    | 10以内(mg/ℓ)        | 0.1以内    | OK | 0.1以内    | OK |
| ジクロロメタン    | 0.1以内(mg/ℓ)   | 0.1以内(mg/ℓ)       | 0.02以内   | OK | 0.02以内   | OK |

pH：水素イオン濃度・SS：水中の汚濁物質濃度・COD：化学的酸素要求量・BOD：生物化学的酸素要求量

## その他、 天ぷら油の回収

### 天ぷら油の回収



運送会社で再生燃料化

### 輸送時のCO<sub>2</sub>排出量の削減協力

運送会社の協力要請で、燃料の節約・CO<sub>2</sub>削減のため、天ぷら油を回収→再燃料化して、地球温暖化防止活動への協力を実施。



# 社会と共に活動しよう

## 地域とのコミュニケーション

弊社の事業活動は、お客様、お取引先様、地域社会、従業員をはじめ、多くの皆様との関係から成り立っています。

### ● 2013年度の取り組み

#### ● 商工会工業部会の講演に石田社長が演者として出席

2013年8月1日

テーマ「会社変遷と昨今の経営環境の変化」について



地元に住ながらケーブルテクニカについてよく知らなかったが矢崎・ケーブルテクニカの歴史、仕事の内容紹介等説明していただき、よくわかりました。…等のご感想を頂き、弊社の活動が少しでもアピールできる良い機会となりました。

#### ● 「中国人」技能実習生が本川根中学校体育祭に参加

2013年9月25日

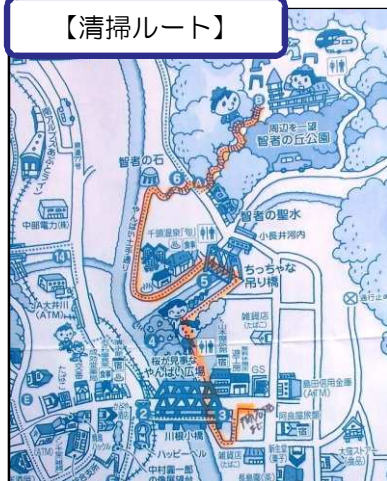


「中国人」技能実習生が参加し、生徒及び地域の皆様との交流を深めてくれました。生徒数48名と少ない中、生徒全員で運営された手作りの体育祭です。天候にも恵まれ、地域の皆様と楽しく過ごすことができました。

#### ● 商工会主催の美化作業に参加

2013年9月17日

##### 【清掃ルート】



参加した若い従業員から、他の参加者の方に、「あなたどこの若い衆」と声を掛けられそれをきっかけにコミュニケーションを取りながら作業ができ、楽しかった。また参加してみたいとの報告があり、良い交流ができました。

#### ● 近隣の田代・柳三地区工場見学受入れ

2013年10月18日



川根紅茶・四国部品製造のお菓子をいただきながら、和やかな雰囲気で行われました♪

- ・ 子供、孫がこちらに務めているが、よい環境で働かせていただいていると思いました。
- ・ 18年間ケーブルテクニカに務めていましたが、とてもなつかしい。
- ・ 水害時には会社の存続を心配しました。現在の精密な工場を見させていただき、安心しました。…OB、従業員ご家族の方も含まれ、近隣地区の皆様にご安心いただけたと思います。

# 社会と共に活動しよう

## ● 「かわね四季の会」主催の未来座談会に石田社長が講演者として出席

2014年2月15日

テーマ「目の前が明るくなる話」 （県内でご活躍の方を囲んで）



静岡県副知事  
大須賀 淑郎氏



静岡県経営管理部長  
土屋 優行氏



ケーブルテクニカ(株)  
石田 社長



### 川根本町に散在する貴重な財産の活用

「ないものねだりから」→「あるものさがし」を

#### 豊富な教育環境の活用

「健康で礼儀正しいしなやかな心を持つ子」川根育ちの子供のブランド化

- ・豊かな自然環境・・・本物との触れ合い
- ・高齢者の子供教育への積極参加
- ・川根高校の存続・・・宿泊施設
- ・都会の子供たちへの「森の幼稚園」、「自然学校」の提供

#### 癒しの里づくり

- ・心の病を癒す施設環境の提供
- ・森林の活用（セラピーロード整備）、温泉、体験農林業

#### 食の地産地消

- ・鹿肉、猪肉の活用
- ・狩猟の復活、加工技術確立、地元消費、販売ルートの確立
- ・山菜、薬草づくり
- ・耕作放棄地の活用



会場：フォーレなかかわね「茶茗館」

川根本町の活性化策としてNPO法人等で交流人口拡大のため、様々な活動を行っていますが、地元企業への協力についても強い期待を寄せるご意見がありました。地元地域等の方々との関係を築く良い機会が得られました。

## ● 中川根中学校1年生 工場見学受入れ （郷土の産業学習）

2014年5月22日



自動車のことや部品のことがいっぱい聞けてよかったですとの感想をいただきました。各人の名前等をレーザー彫刻したフォトフレームを進呈  
⇒♪よろこんでくれました。

## 地域との共生を図る 新規事業

地域社会との共生を目的とした新たな取り組みを模索し、地元の基幹産業である「川根茶」を矢崎グループ内の販売により、新たな販路の拡大に繋げていく活動です。



矢崎グループ

- ・商品集荷
- ・デザイン検討
- ・パッケージ作業

“贈答用商品”  
の販売